

<取材のお願い>

2023年10月13日

宮崎県立延岡高等学校

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

日本とタイの高校生による科学技術交流プログラム ～「きれいな海を守るためにできること」をともに考える～

宮崎県立延岡高等学校では、10月22日（日）～10月28日（土）、タイの高校生9名、教員2名、計11名を招へいし、SDGs14番目の目標である「海の豊かさを守ろう」をテーマとした科学技術交流プログラムを実施します。来日する高校生は、理数系の教育に力を入れているスアンクラブウィッタヤライランシット校に在籍する優秀な生徒たちです。

商工業港、漁港として利用されている延岡湾の南部沿岸では、水質調査が定期的に行われており、2017年度の各海域の各地点の水質は環境基準を満たしていました。しかし、2022年8月に本校生徒らが行った調査によると、沿岸部には日本国内だけでなく、韓国や中国から漂流したごみが多く、0.3ミリ以下のごみが砂に含まれていることがわかりました。一方タイでは、ごみの不適正処理、不法投棄等によるプラスチックごみの海洋への流出・汚染が顕著で、特に都市部での廃棄物問題が深刻化しています。

プログラムでは、日・タイの生徒が海洋汚染の現状を知り、きれいな海を取り戻すためになすべきことを協働で探ります。事前交流として7月～9月に5回にわたって行われたオンラインによる共同研究の成果発表の後、九州保健福祉大学では「マイクロプラスチックごみを目視できるか」という課題から環境問題を科学的に捉えた講義を受講し、最先端の実験装置に触れます。また、宮崎大学農学部延岡フィールドでは、実習船に乗って採取した海水サンプルの分析を行うほか、浅瀬に生息する海洋生物の観察などから海の生態系を学びます。

帰国前日の10月27日（金）午後に実施されるディスカッション「きれいな海を守るには？」では、日本とタイの異なった観点から議論を重ね、科学技術を用いた一つの解決策を導き出すことを目標とします。また、タイの生徒たちが書道・音楽・家庭科などの授業や、茶道を体験する時間も設けました。本プログラムにより、参加する両国の高校生らが、グローバルに活躍する人材へと成長することが期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、タイの高校生らが本校の書道・音楽・家庭科などの授業や茶道を体験する様子、事前に実施したオンライン共同研究の発表を行う様子、九州保健福祉大学にて講義を受ける様子、宮崎大学農学部延岡フィールドにて研修を受ける様子、ディスカッション「きれいな海を守るには？」の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の菊次淳教諭へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●授業体験（書道、音楽、家庭科） ●茶道体験
- 共同研究の発表
 - 九州保健福祉大学にて研修（竹澤真吾生命医科学部教授による）
 - 宮崎大学農学部延岡フィールドにて研修（内田勝久農学部教授による）
 - ディスカッション「きれいな海を守るには？」

【実施場所】 延岡高校、九州保健福祉大学、宮崎大学延岡フィールド

【研修日程概要】

10月22日(日)	午後：来日
10月23日(月)	午前：オリエンテーション（延岡高校） 午後：体験授業① 書道、体験授業②音楽（同上） 歓迎式典
10月24日(火)	午前：科学教室、体験授業③家庭科（延岡高校） 午後：共同研究発表 茶道体験
10月25日(水)	終日：九州保健福祉大学にて研修
10月26日(木)	終日：宮崎大学農学部延岡フィールドにて研修
10月27日(金)	午前：研修のまとめ（延岡高校） 午後：ディスカッション「きれいな海を守るには」（同上）
10月28日(土)	午前：ホームステイ交流 午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

宮崎県立延岡高等学校

電話：0982-32-5331 Eメール:kikutsugi.jun@gmail.com（担当：菊次（きくつぎ））

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

電話：03-5214-8288 Eメール：ssp.press@jst.go.jp（担当：田中(禎)、太田）